

新発田市・胎内市・聖籠町

定住自立圏共生ビジョン

第2期

(別冊)

令和 4年 3月策定

令和 5年 3月改定

令和 6年 3月改定

新 発 田 市



I 生活機能の強化に係る政策分野

1 医療

医療連携の推進

取組の内容	圏域全体で切れ目のない医療の提供及び医療サービスの充実を図る。
-------	---------------------------------

事業名	在宅医療・介護連携推進事業	連携市町	新発田市・胎内市・聖籠町
		連携開始	平成30年度

事業費の推移(千円)		R4	R5	R6	R7	R8
	新発田市	7,420	7,748	7,944	7,944	7,944
	胎内市	3,657	3,795	3,901	3,901	3,901
	聖籠町	2,451	2,552	2,630	2,630	2,630
実施スケジュール		→	→	→	→	→

事業概要

医療と介護の両方を必要とする高齢者の在宅医療と介護の一体的なサービスを提供するため、「在宅医療・介護連携推進事業」を、連携して実施する。また、事業を実施するための組織運営や事業に係る会議や調整等を行う。

期待される効果

医療圏域を同じくする市町が連携・協力して事業を実施することによって、より効率的・効果的な事業展開ができるとともに、地域の実情に合わせた高齢者の安心・安全な生活環境の整備が期待できる。

費用負担割合

事業に要する費用を均等割(40%)と高齢者人口割(60%)で按分をする。

各市町の役割分担

新発田市	主体となり、毎年、事業や会議等の実施調整を行うとともに、委託先の連携センターや関係機関との連絡・協議等を行う	胎内市	新発田市と事業や会議等の実施に於いて連携を図るとともに、委託先の連携センターや関係機関との連絡・協議等を行う
		聖籠町	新発田市と事業や会議等の実施に於いて連携を図るとともに、委託先の連携センターや関係機関との連絡・協議等を行う

成果指標(KPI)

	現状値(令和3年度時点)	目標値(令和8年度)
多職種連携研修会の参加者数(人数)	580	580

2 福祉

子育て環境の充実

取組の内容	圏域の子育て支援を充実させるため、圏域全体で安心して子育てができる環境を整備する。
-------	---

事業名	子育て応援カード事業	連携市町	新発田市・胎内市・聖籠町
		連携開始	平成30年度

事業費の推移(千円)		R4	R5	R6	R7	R8
	新発田市	1,314	1,260	1,260	1,260	1,260
	胎内市	243	280	375	375	375
	聖籠町	12	31	31	31	31
実施スケジュール		→	→	→	→	→

事業概要

子育て家庭を応援し、安心して子どもを産み育てることができるまちづくりをめざし、中学3年生までの子どもを養育している世帯を対象に、協賛する店舗等で提供する割引や特典等のサービスを受けることができる「子育て応援カード」の利用者及び協賛店等の拡大を図る。

期待される効果

経済的な負担の軽減など子育て家庭への支援や、子育てしやすい環境整備を推進することによって、子どもを産み育てやすい環境の提供や地域経済の活性化が期待でき、定住人口の増加につながる。

費用負担割合

各自自治体における事業の推進に要する費用は、それぞれが負担する。

各市町の役割分担

新発田市	主体となり事業の調整を図り、圏域内での協賛店等の拡大を図る。	胎内市	新発田市と事業調整など連携を図るとともに、「子育て応援カード」の発行や協賛店の登録等を推進する。
		聖籠町	新発田市と事業調整など連携を図るとともに、「子育て応援カード」の発行や協賛店の登録等を推進する。

成果指標(KPI)

子育て応援カード交付枚数(件)	現状値(令和3年度時点)	目標値(令和8年度)
		10,565

事業名	赤ちゃんの駅整備、マップ作成事業	連携市町	新発田市・胎内市・聖籠町
		連携開始	平成30年度

事業費の推移(千円)		R4	R5	R6	R7	R8
	新発田市	0	0	0	0	0
	胎内市	0	37	0	0	0
	聖籠町	0	0	0	0	0
実施スケジュール		→	→	→	→	→

事業概要

オムツ交換台や授乳スペースを備えた「赤ちゃんの駅」を広く周知することにより、子どもを連れて安心して気軽に外出できる環境の整備を進める。

期待される効果

子育て世代が感じる不便を解消するなど子育てしやすい環境整備を推進することによって、子どもを産み育てやすい環境の提供や地域経済の活性化が期待でき、定住人口の増加につながる。

費用負担割合

各自治体における事業の推進に要する費用は、それぞれが負担する。

各市町の役割分担

新発田市	主体となり事業の調整を図るとともに、実態調査を実施し、民間が設置する施設を含めた赤ちゃんの駅を住民に周知を図る。	胎内市	新発田市と事業調整など連携を図るとともに、実態調査を実施し、民間が設置する施設を含めた赤ちゃんの駅を住民に周知を図る。
		聖籠町	新発田市と事業調整など連携を図るとともに、実態調査を実施し、民間が設置する施設を含めた赤ちゃんの駅を住民に周知を図る。

成果指標(KPI)

	現状値(令和3年度時点)	目標値(令和8年度)
赤ちゃんの駅ホームページ掲載数(件)	59	84

3 教育

教育連携の推進

取組の内容	圏域全体で質の高い教育環境の提供が行えるような取り組みを実施する。
-------	-----------------------------------

事業名	校務支援システム運営事業	連携市町	新発田市・聖籠町
		連携開始	令和4年度

事業費の推移(千円)		R4	R5	R6	R7	R8
	新発田市	5,944	10,188	10,188	10,188	10,188
	胎内市					
	聖籠町	0	2,666	3,197	3,197	3,197
実施スケジュール		→	→	→	→	→

事業概要
圏域内で同一の校務支援システムを整備し、教職員の異動による再研修等の負担をシステム操作等の統一化を図って軽減するとともに、相互連携により運用の効率化や最適な維持管理を行う。また、将来的には本システムの圏域内クラウド化を目指しつつ、圏域内児童生徒の異動等に伴う多種多様な情報の共有及び圏域内連携を含めた事務効率化を図る。

期待される効果
連携市町内で教職員が異動しても同一の校務支援システムを使用することができ、業務の効率化が図られる。

費用負担割合
導入時点では、参加自治体とシステム業者との個別契約となるため、参加自治体間の負担割合は設定しない。今後、圏域内クラウド化を目指し、システム使用料や借上機器等ランニングコストとの縮減など運用の効率化を検討する。

各市町の役割分担			
新発田市	導入システムの選定・整備準備において、中心的な役割を担う。導入後は、システムの維持管理及び圏域内クラウド化に向けた計画を参加自治体と連携の上、検討を行う。	胎内市	
		聖籠町	新発田市と連携して導入システムの選定を行う。導入後は、システムの維持管理及び圏域内クラウド化に向けた計画を新発田市と連携の上、検討を行う。

成果指標(KPI)		
教員1人あたりの校務(成績処理、出欠管理、通知表、指導要録作成等)に要する時間	現状値(令和3年度時点)	目標値(令和8年度)
	135分/1日	95分/1日

事業名	図書館相互利用推進事業	連携市町	新発田市・胎内市・聖籠町
		連携開始	平成30年度

事業費の推移(千円)		R4	R5	R6	R7	R8
	新発田市	0	0	0	0	0
	胎内市	0	0	0	0	0
	聖籠町	0	0	0	0	0
実施スケジュール		→	→	→	→	→

事業概要

新発田市、胎内市及び聖籠町が設置する公立図書館において、圏域内の住民へ図書館の資料の閲覧及び図書館資料の個人貸出を行うことによって、利用者の利便性の向上を図る。

期待される効果

図書館の広域利用が可能となることにより、圏域住民の生涯学習や課題解決を支援する資料・情報が増え、利用者の利便性の向上につながるため、各図書館利用者の増加が期待できる。

費用負担割合

参加自治体間の負担割合は設定しない。

各市町の役割分担

新発田市	新発田市は中心館として、連携市町の調整役を務め、圏域内の住民の図書館利用の充実と利用促進を図る。	胎内市	新発田市と連携し、圏域内の住民の図書館利用の充実と利用促進を図るため、資料と利用環境の整備に努める。
		聖籠町	新発田市と連携し、圏域内の住民の図書館利用の充実と利用促進を図るため、資料と利用環境の整備に努める。

成果指標(KPI)

	現状値(令和2年度時点)	目標値(令和8年度)
圏域内住民の貸出利用者数(人)	125,247人	127,503人

事業名	歴史資料デジタルアーカイブズ事業	連携市町	新発田市・胎内市・聖籠町
		連携開始	令和6年度

事業費の推移(千円)		R4	R5	R6	R7	R8
	新発田市	/	/	10,106	7,606	7,583
	胎内市	/	/	4,257	4,300	4,400
	聖籠町	/	/	80	80	80
実施スケジュール		/	/	→	→	→

事業概要

3市町の古文書データを新発田市立歴史図書館デジタルアーカイブシステムで公開するもの。

期待される効果

江戸時代新潟県の北部を治めた新発田藩は、現在の新発田市域に限らず、近隣市町村を藩域としており、圏域内の資料を一括公開することで、利用者の検索に係る利便性が高まり、かつ、地域資料全体の保存と活用に寄与する。

費用負担割合

各市町が所蔵する資料の修復・保存は各市町が行い、公開に係るシステムの運用に係る経費は新発田市が負担する。

各市町の役割分担

新発田市	各市町のデータの取りまとめ、公開に係る業務を行う。	胎内市	新発田市への古文書データの提供
		聖籠町	新発田市への古文書データの提供

成果指標(KPI)

古文書データの目録公開数(点)	現状値(令和4年度時点)	目標値(令和8年度)
	11,233	24,905

4 産業振興

(1) 広域観光の推進

取組の内容	圏域における観光資源や特産品を全国に発信し、誘客につなげるため、観光PRや観光ルートを形成し、広域的な観光振興を行う。
-------	---

事業名	広域観光圏づくり推進事業	連携市町	新発田市・胎内市・聖籠町
		連携開始	平成29年度

事業費の推移(千円)		R4	R5	R6	R7	R8
	新発田市	7,000	17,782	25,282	25,282	25,282
	胎内市	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
	聖籠町	300	300	300	300	300
実施スケジュール		→	→	→	→	→

事業概要

首都圏・関西圏・海外に向けた観光PRや誘客活動の強化、DMOによる手配業務等の受入れ態勢の強化を図る。
また、圏域の資源やツールを活用した周遊ルートの策定や旅行商品の造成、観光客等への地域産品の販売促進の強化により、圏域への誘客の増加及び経済効果の創出を図る。

期待される効果

それぞれの観光資源、地域資源を相互に活用することで、より多くの観光客への訴求力が高まるとともに、DMOを中心とした民間との連携を促すことで、地域経済への波及効果が高まることが期待される。

費用負担割合

事業割合により案分

各市町の役割分担

新発田市	主体となり事業の調整を図るとともに、連携市町や関連機関、企業などと連携し、広域観光圏づくりを推進する。	胎内市	新発田市と取組に必要な連携を図り、地域の観光資源や地域資源の掘り起こしを進めるとともに、広域観光に必要な人材育成や資源価値の向上などの誘客効果を促進する。
		聖籠町	

成果指標(KPI)

阿賀北管内外国人宿泊者数(人)	現状値(令和3年度時点)	目標値(令和8年度)
		4,331

事業名	山岳施設維持管理運営事業	連携市町	新発田市・胎内市
		連携開始	令和3年度

事業費の推移(千円)		R4	R5	R6	R7	R8
	新発田市	1,100	1,200	1,200	1,200	1,200
	胎内市	1,197	1,212	1,197	1,197	1,197
	聖籠町					
実施スケジュール		→	→	→	→	→

事業概要

山岳を中心とした周辺の観光資源の魅力を発信するほか、誘客促進のためのPR活動を行う。また、安全かつ快適な登山を楽しむために登山道などの整備等を行う。

期待される効果

広域観光の新たな資源として、山岳(飯豊山、二王子岳、楡形山脈など)の魅力を市内外へPRできるほか、近隣の観光施設や飲食店の誘客促進に繋げる。また、山岳観光として一体的に整備し、多くの登山者に快適な環境を提供し、新規やリピーターの増加を図る。

費用負担割合

【楡形山脈パンフレットの共同作成】
 事業費:400千円(内訳:新発田市200千円(負担金)、胎内市200千円)
 【ヘリコプターによる資材空輸】
 事業費:1,897千円(内訳:新発田市900千円(負担金)、胎内市997千円)

各市町の役割分担

新発田市	連携市町や関係団体などと連携し、広域観光の推進や誘客促進に向けたPRや整備等を行う。	胎内市	新発田市や関係団体などと連携し、広域観光の推進や誘客促進に向けたPRや整備等を行う。
		聖籠町	

成果指標(KPI)

	現状値(令和3年度時点)	目標値(令和8年度)
山岳の年間登山者数(人)	35,290	45,701

(2)農業振興の推進

取組の内容	圏域の農業振興の情報を共有し、農産物等のPR活動や販売促進活動により消費拡大に取り組む。
-------	--

事業名	広域連携農産物等販売促進事業	連携市町	新発田市・胎内市・聖籠町
		連携開始	平成29年度

事業費の推移(千円)		R4	R5	R6	R7	R8
	新発田市	0	0	2,650	150	150
	胎内市	0	0	538	538	538
	聖籠町	0	0	630	630	630
実施スケジュール		→	→	→	→	→

事業概要

各市町の内外で開催されるイベント等において、圏域内の農産物・特産品・加工品等のPRや販売等を行うことにより、広域圏での地域農産物等の認知度の向上や消費拡大を図る。

期待される効果

圏域内の農産物などの認知度と魅力を高めることで、生産や消費の拡大を図り、地域経済の活性化が期待される。

費用負担割合

イベント等に要する費用(開催費、開催主体への助成金等)は、それぞれが負担する。

各市町の役割分担

新発田市	イベントの開催情報等を共有する。 関係町村との連絡調整を図る。	胎内市	イベントの開催情報等を共有する。 取組に必要な連携を図る。
		聖籠町	イベントの開催情報等を共有する。 取組に必要な連携を図る。

成果指標(KPI)

	現状値(令和3年度時点)	目標値(令和8年度)
農産物等販売イベント来場者数(人)	0人	11,000人

(3)新たな産業創出・雇用の促進

取組の内容	圏域内における新たな産業創出及び雇用の促進のため、シェアオフィスの設置・運営、圏域内企業へのインターンシップ等を行う。
-------	---

事業名	シェアオフィス設置及び運営事業	連携市町	新発田市・胎内市・聖籠町
		連携開始	令和4年度

事業費の推移(千円)		R4	R5	R6	R7	R8
	新発田市	51,076	12,973	33,120	49,411	9,841
	胎内市	0	0	0	0	0
	聖籠町	0	0	0	0	0
実施スケジュール		→	→	→	→	→

事業概要

小学校の空き校舎などを活用して新たにシェアオフィス等を設置し、IT企業や研究開発部門など先端産業の誘致を進めるとともに、UJIターン等によるスタートアップ企業の育成を支援し、定住自立圏における産業活性化を促進するための環境づくりを行う。

期待される効果

シェアオフィスを拠点として先端産業の企業・スタートアップ企業・圏域内の企業が連携し、新たな産業創出・圏域内の活性化が推進されるほか、UJIターンによる若い世代の労働者増加も期待できる。

費用負担割合

シェアオフィス設置及び運営については、全額新発田市が負担するものとする。

各市町の役割分担

新発田市	シェアオフィスの設置・運営、連携市町との調整を行うとともに、企業誘致を進め、圏域内への労働者定着(特にUJIターン)を促進する。	胎内市	新発田市との取組に必要な連携を図るとともに、圏域内への労働者定着(特にUJIターン)を促進する。
		聖籠町	

成果指標(KPI)

シェアオフィスへの入居企業数(累計)	現状値(令和3年度時点)	目標値(令和8年度)
		0

事業名	圏域就職支援事業	連携市町	新発田市・胎内市・聖籠町
		連携開始	平成29年度

事業費の推移(千円)		R4	R5	R6	R7	R8
	新発田市	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	胎内市	61	61	61	61	61
	聖籠町	31	31	32	32	32
実施スケジュール		→	→	→	→	→

事業概要

圏域内の高校生や大学生を対象に、圏域内企業へのインターンシップを実施し、新発田市、胎内市、聖籠町に所在する圏域内企業への安定した雇用を確保し、高校生や大学生の圏域内就業率の向上を図る。

期待される効果

企業へのインターンシップの受け入れが拡大することによって、圏域内企業への就職率の向上と労働力を確保し、若者の圏域外流出の抑制と圏域外流入の促進が期待される。

費用負担割合

事業に要する費用は、各自治体の人口等により案分する。

各市町の役割分担

新発田市	主体となり事業の調整を図るとともに、連携市町や関連機関、企業、学校等と連携してインターンシップを実施し、人材育成や産業の活性化、圏域内就職の促進を図る。	胎内市	新発田市と取組に必要な連携を図るとともに、連携市町や関連機関、企業、学校等と連携してインターンシップを実施し、市町の人材育成や産業の活性化、圏域内就職の促進を図る。
		聖籠町	

成果指標(KPI)

	現状値(令和3年度時点)	目標値(令和8年度)
インターンシップに参加した高校生や大学生の数(人)	103	300

5 その他生活機能の強化

その他生活機能の強化に関する連携

取組の内容	上記に掲げるもの以外に結びつきやネットワークの強化に係る連携を実施する
-------	-------------------------------------

事業名	無料法律相談事業	連携市町	新発田市・胎内市・聖籠町
		連携開始	平成29年度

事業費の推移(千円)		R4	R5	R6	R7	R8
	新発田市	477	478	478	478	478
	胎内市	378	378	378	378	378
	聖籠町	356	356	356	356	356
実施スケジュール		→	→	→	→	→

事業概要

新発田市、胎内市、聖籠町の各自治体で実施する無料弁護士相談において、圏域内の住民が、いずれの無料弁護士相談も利用できるように、利便性の向上を図る。

期待される効果

相談体制の充実が図られることにより、圏域内の住民の安心した生活や快適な暮らしが可能となり、社会生活の維持が図られる。

費用負担割合

各市町が負担する。

各市町の役割分担

新発田市	胎内市及び聖籠町が実施する弁護士相談の相互利用を可能とし、住民の利便性を向上させる。	胎内市	新発田市と取組に必要な連携を図るとともに、連携市町が開催する無料弁護士相談の住民への周知等を行う。
		聖籠町	弁護士相談の相互利用を可能とし、住民の利便性を向上させる。

成果指標(KPI)

他市町への相談者人数(人)	現状値(令和3年度時点)	目標値(令和8年度)
		6

事業名	在住外国人支援事業	連携市町	新発田市・胎内市
		連携開始	令和2年度

事業費の推移(千円)		R4	R5	R6	R7	R8
	新発田市	15	20	126	126	126
	胎内市	6	10	55	55	55
	聖籠町					
実施スケジュール		→	→	→	→	→

事業概要

日本での生活に役立つ知識の提供やイベントを通して、圏域に住む在住外国人が安心して快適な生活が送れるよう支援する。

期待される効果

生活に必要な知識が身に付くとともに、参加者同士の交流や地域とつながりをもつことで、新たなネットワークが生まれ、共生社会が構築される。

費用負担割合

事業による費用は、各自治体に居住する外国人住民数により案分する。

各市町の役割分担

新発田市	調整窓口となり、連携市や関係団体と連携、調整を行う。	胎内市	新発田市と取り組みに必要な連携を図るとともに、関係団体と連携、調整を行う。
		聖籠町	

成果指標(KPI)

圏域を住みやすいと感じている 外国人住民の割合 (単位)	現状値(令和3年度時点)	目標値(令和8年度)
		57

II 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

1 公共交通

地域間の公共交通の連携強化

取組の内容	各地域における生活圏に応じた移動手段の確保と利便性の向上を図るため、公共交通網の再編、整備を進め、持続可能な公共交通体系を構築する。
-------	--

事業名	公共交通連携事業	連携市町	新発田市・胎内市・聖籠町
		連携開始	平成30年度

事業費の推移(千円)		R4	R5	R6	R7	R8
	新発田市	0	0	0	0	0
	胎内市	0	0	0	0	0
	聖籠町	0	0	0	0	0
実施スケジュール		-	-	-	-	-

事業概要

生活圏や通学圏などの圏域内の移動ニーズを探り、利便性の向上や広域移動手段の確保を図るため、路線バス、コミュニティバス及びデマンドタクシー等の連携系統などを検討し、必要に応じて、接続拠点や市町間の横断的な運行の構築を図っていく。

期待される効果

各市町の公共交通推進における課題は異なるが、広域的な移動ニーズの課題解消に期待できる。

費用負担割合

未定であるが、連携した場合、事業費を利用者数や運行距離等で案分する。

各市町の役割分担

新発田市	未定	胎内市	未定
		聖籠町	未定

成果指標(KPI)

	現状値(令和3年度時点)	目標値(令和8年度)
	未定	未定

2 インフラの整備促進

施設、インフラ、道路網の整備促進

取組の内容	安全な生活環境の維持確保と利便性の向上のため、圏域内外をつなぐ幹線道路や生活に密着した施設等の整備を進め、インフラの構築を図る。
-------	--

事業名	市道念仏塚線、町道寺島網代浜線整備事業	連携市町	新発田市・聖籠町
		連携開始	平成29年度

事業費の推移(千円)		R4	R5	R6	R7	R8
	新発田市	8,569	12,243	12,000	12,000	12,000
	胎内市	/	/	/	/	/
	聖籠町	1,195	0	64,691	未定	未定
実施スケジュール		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

事業概要

新発田市と聖籠町を結ぶ幹線道路脇に歩道を整備し、圏域の多くの高齢者や学生の通院、通学、買い物など、生活機能に必要な安全な交通路を確保する。
 圏域住民の生活に必要な交通路を交流促進を図るため、道路等の交通インフラの整備を行う。
 歩道整備(施工延長1400m、歩道幅員3.0m、橋梁1橋、測量調査)

期待される効果

学生や高齢者などの自動車を運転できない住民の通勤や通学、通院などの生活に必要な生活路が確保されるなど、生活機能の維持や圏域住民の利便性の向上が期待できる。

費用負担割合

事業に要する費用は、管理区分により負担する。

各市町の役割分担

新発田市	連携市町と取組に必要な連携を強化し、歩道整備の実施や利便性の高い道路ネットワーク整備のための各種情報の提供や調整を行う。	胎内市	/
		聖籠町	新発田市と取組に必要な連携を図り、歩道整備の実施や利便性の高い道路ネットワーク整備のための各種情報の提供や調整を行う。

成果指標(KPI)

整備した歩道(m)	現状値(令和3年度時点)	目標値(令和8年度)
		100m

3 地域内外の住民との交流促進

市民活動の連携強化

取組の内容	圏域内で地域づくりに取り組む市民団体の連携や活動の情報の共有、発信の機会を促進し、広域的なまちづくりの基盤づくりと振興を図る。
-------	---

事業名	まちづくり活動支援事業	連携市町	新発田市・胎内市・聖籠町
		連携開始	平成28年度

事業費の推移(千円)		R4	R5	R6	R7	R8
	新発田市	0	20	20	20	20
	胎内市	0	0	0	0	0
	聖籠町	0	0	0	0	0
実施スケジュール		→	→	→	→	→

事業概要

地域づくりの担い手として期待される市民やNPO法人、市民活動団体が市町の枠組みを超えて交流・連携できるものとして市民活動団体等を紹介する冊子「市民団体とつながるハンドブック」を作成する。

期待される効果

市民活動団体等を紹介する冊子を作成することで、活動を理解してもらうことができ、さらに団体間の連携や活動基盤の広域化が図られることによって活動団体や地域の活性化が期待できる。

費用負担割合

事業による費用は、新発田市が負担。

各市町の役割分担

新発田市	調整窓口となり、連携市町や関係団体との連携、調整を行う。	胎内市	取り組みに必要な連携を図るとともに、関係団体と連携、調整を行い、原稿を作成する。
		聖籠町	取り組みに必要な連携を図るとともに、関係団体と連携、調整を行い、原稿を作成する。

成果指標 (KPI)

掲載団体数	現状値(令和3年度時点)	目標値(令和8年度)
		31

4 スポーツの振興

スポーツ振興の推進

取組の内容	圏域のスポーツ振興を図るため、スポーツ施設の管理運営の充実に向けた情報共有や管理技術の向上を図るとともに、各種スポーツイベントやスポーツ活動を促進する。
-------	--

事業名	総合型地域スポーツクラブ連携事業	連携市町	新発田市・胎内市・聖籠町
		連携開始	平成29年度

事業費の推移(千円)		R4	R5	R6	R7	R8
	新発田市	0	0	0	0	0
	胎内市	0	0	0	0	0
	聖籠町	0	0	0	0	0
実施スケジュール		→	→	→	→	→

事業概要

新発田市、胎内市、聖籠町が所有する大型体育施設の管理やスポーツ教室等を行う認定NPO法人等が連携し、高い管理能力と技術による良好な施設状態の維持やスポーツ推進のための研修会・情報交換会を開催する。

期待される効果

研修や施設の管理技術の向上を目指した研修会や情報交換会によって、管理技術のレベル向上を図るとともに、連携、協働により良好な施設を維持することによって、良質なスポーツ環境を維持し、施設等の長寿命化や管理コストの削減が図られる。

費用負担割合

参加自治体間の負担割合は設定しない。

各市町の役割分担

新発田市	主体となり事業の調整を図るとともに、連携市町や関係団体などと連携、調整を図り、研修会や必要な情報提供を行う。	胎内市	新発田市と取組に必要な連携を図るとともに、関係団体などと連携、調整を図り、研修会や必要な情報交換を行う。
		聖籠町	新発田市と取組に必要な連携を図るとともに、関係団体などと連携、調整を図り、研修会や必要な情報交換を行う。

成果指標(KPI)

研修会参加数(人)	現状値(令和3年度時点)	目標値(令和8年度)
		0

事業名	各スポーツ大会等の合同開催	連携市町	新発田市・胎内市・聖籠町
		連携開始	平成29年度

事業費の推移(千円)		R4	R5	R6	R7	R8
	新発田市	0	0	0	0	0
	胎内市	0	0	0	0	0
	聖籠町	0	0	0	0	0
実施スケジュール		→	→	→	→	→

事業概要

新発田市、胎内市、聖籠町で同時期に同様の目的で開催されているスポーツイベント等の合同開催を実施する。

期待される効果

圏域内で、首都圏に匹敵するビックイベントを開催することによって、圏域の新たな魅力を発信し、交流人口と定住人口の促進が図られるとともに、費用対効果の高いイベント開催が期待できる。

費用負担割合

参加自治体間の負担割合は設定しない。

各市町の役割分担

新発田市	主体となり事業の調整を図り、連携市町や関係機関などとの連携や情報の共有によって、イベント選定などの協議を進める。	胎内市	新発田市と取組に必要な連携を図るとともに、関係団体などと連携、調整を行い、また、イベント開催や圏域の魅力を県内外に宣伝する。
		聖籠町	新発田市と取組に必要な連携を図るとともに、関係団体などと連携、調整を行い、また、イベント開催や圏域の魅力を県内外に宣伝する。

成果指標(KPI)

	現状値(令和3年度時点)	目標値(令和8年度)
イベントの合同開催数(イベント)	0	2

5 その他結びつきやネットワークの強化

その他結びつきやネットワークの強化に関する連携

取組の内容	上記に掲げるもの以外に結びつきやネットワークの強化に係る連携を実施する。
-------	--------------------------------------

事業名	婚活支援事業	連携市町	新発田市・胎内市・聖籠町
		連携開始	平成29年度

事業費の推移(千円)		R4	R5	R6	R7	R8
	新発田市	2,490	3,282	3,348	3,348	3,348
	胎内市	169	167	241	241	241
	聖籠町	86	85	134	134	134
実施スケジュール		→	→	→	→	→

事業概要

婚姻数・出生数の低下に伴う人口減少対策として、新発田市と隣接する胎内市および聖籠町と連携し、結婚を希望する人達へ、出会いの場の提供や個別相談、フォローアップなど、各ステップに応じた切れ目のない結婚支援を広域的に実施する。

期待される効果

対象者の拡大、事業内容や周知の拡充が図られ、効率的かつ効果的な結婚支援の実施により、圏域内の婚姻数の上昇が期待される。

費用負担割合

総事業費から県補助金を引いた単費分を各市町の人口割で算出

各市町の役割分担

新発田市	主体となり事業の調整を図り、連携市町や関係機関、企業などとの連携や情報の共有を行うとともに、事業計画の策定や事業者選定、ワーキング部会の開催を各市町と連携して行う。	胎内市	各市町と連携し事業を実施。開催地となる場合は主体的に事業の調整を行う。
		聖籠町	各市と連携し事業を実施。開催地となる場合は主体的に事業の調整を行う。

成果指標(KPI)

	現状値(令和3年度時点)	目標値(令和8年度)
イベント参加者のカップル率(%)	39.40%	43%

事業名	移住促進事業	連携市町	新発田市・胎内市
		連携開始	令和2年度

事業費の推移(千円)		R4	R5	R6	R7	R8
	新発田市	1,198	1,198	12,393	14,793	14,793
	胎内市	500	250	3,500	3,740	3,980
	聖籠町	/	/	/	/	/
実施スケジュール		→	→	→	→	→

事業概要

県外の移住検討者に向けた移住セミナー等や、お試し居住施設の提供や移住・定住に係る家賃・交通費等の補助などを連携して行い、圏域の暮らしや仕事などの情報を発信することで、広域的な移住促進を図る。

期待される効果

セミナー等の共同開催やお試し居住施設利用者への体験プログラムなどを共有することで、広域的な地方暮らしの魅力や仕事情報の発信が可能となるとともに、家賃等の補助を行うことで移住にかかる負担を軽減し、移住者や関係人口の増加が期待できる。

費用負担割合

各市の事業費を各自で負担する。

各市町の役割分担

新発田市	主体となり事業を実施するとともに、連携市や関係機関と取組に必要な連絡、調整などを行う。	胎内市	新発田市と連携し事業を実施。開催地となる場合は主体的に事業の調整を行う。
		聖籠町	/

成果指標(KPI)

	現状値(令和3年度時点)	目標値(令和8年度)
事業参加者数(人)	10人	20人

事業名	定住自立圏運営事業	連携市町	新発田市・胎内市・聖籠町
		連携開始	平成29年度

事業費の推移(千円)		R4	R5	R6	R7	R8
	新発田市	54	54	54	54	54
	胎内市	0	0	0	0	0
	聖籠町	0	0	0	0	0
実施スケジュール		→	→	→	→	→

事業概要

毎年連携事業の振り返りを行い、共生ビジョン懇談会を開催して効果検証を図る。また、連携事業の追加・廃止について担当課へ確認し、必要に応じて協定書及び共生ビジョンの改定を行う。

期待される効果

各市町で抱える課題に対し広域的に取り組むことができる。

費用負担割合

全額新発田市が負担するものとする。

各市町の役割分担

新発田市	毎年度の振り返り、進捗確認の照会及び定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催	胎内市	新発田市からの照会に対する回答及び庁内調整共生ビジョン懇談会への参画
		聖籠町	新発田市からの照会に対する回答及び庁内調整共生ビジョン懇談会への参画

成果指標(KPI)

	現状値(令和3年度時点)	目標値(令和8年度)
定住自立圏における連携事業数(事業)	26	29

Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

1 中心市等における人材の育成

産学官の連携強化

取組の内容	産学官が連携して、知識と技能を持つ学生の圏域内の就業や定住を促進し、圏域全体の人材育成を図る。
-------	---

事業名	新潟職業能力開発短期大学校を中心とした産・学・官の連携強化事業	連携市町	新発田市・胎内市
		連携開始	平成29年度

事業費の推移(千円)		R4	R5	R6	R7	R8
	新発田市	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	胎内市	0	0	0	0	0
	聖籠町	/	/	/	/	/
実施スケジュール		→	→	→	→	→

事業概要

県域外への人口流出を防ぎ、圏域内企業への人材確保のために、産・学・官が連携し、職業能力開発短期大学校生の地元定着の促進を図るとともに、学生の地域住民とのふれあいや地域貢献活動の機会を通じた人材の育成を支援する。

期待される効果

学生の圏域内企業への魅力発見と就労及び定住の機会を促し、企業における事業の高度化や新事業の創出が図られるとともに、学生を中心とした産業連携により、地域の魅力向上と活性化が期待できる。

費用負担割合

新発田市が全額負担する。

各市町の役割分担

新発田市	主体となって事業の調整を図り、大学校や企業等、自治体等と連携し、学生等の圏域における活動の機会を広げるなど、圏域内企業への雇用に向けた人材確保、育成を支援する。	胎内市	新発田市と事業調整などを図るとともに、企業等と連携し、学生等の圏域における活動の機会を広げるなど、圏域内企業への雇用に向けた人材確保、育成を支援する。
-------------	--	------------	---

成果指標 (KPI)

圏域内等就業率 (圏域内+協議会事業所)(%)	現状値(令和3年度時点)	目標値(令和8年度)
		14.7

2 圏域内の職員交流

職員の資質向上

取組の内容	圏域で合同研修等を実施し、圏域職員の資質向上と職員間のネットワークを強化する。
-------	---

事業名	職員研修会共同実施事業	連携市町	新発田市・胎内市・聖籠町
		連携開始	平成29年度

事業費の推移(千円)		R4	R5	R6	R7	R8
	新発田市	120	232	232	232	232
	胎内市	6	19	19	19	19
	聖籠町	4	22	22	22	22
実施スケジュール		→	→	→	→	→

事業概要

新発田市、胎内市、聖籠町が実施する研修等において、圏域職員にとって有益で必要性の高いものについては、合同研修会を実施する。また、必要に応じて共同企画による合同研修を開催する。

期待される効果

自治体職員としての必要な専門知識等を効率的・効果的に習得でき、職員の資質向上が図られるとともに、研修等を通じた人事交流により、圏域職員の連携強化や、広域行政の推進が期待できる。

費用負担割合

事業に要する費用は、各自治体の参加者数等により案分する。

各市町の役割分担

新発田市	主体となり事業の調整を図り、連携市町と研修等の計画や準備、各市町への案内、報告等を行う。	胎内市	新発田市と事業調整など連携を図るとともに、各市町で開催する研修等の計画や準備、案内、報告等を行う。
		聖籠町	新発田市と事業調整など連携を図るとともに、各市町で開催する研修等の計画や準備、案内、報告等を行う。

成果指標(KPI)

	現状値(令和3年度時点)	目標値(令和8年度)
市町間で実施していく合同研修会への参加人数(人)	253	130

3 その他圏域マネジメント能力の強化

その他圏域マネジメント能力の強化に関する連携

取組の内容	上記に掲げるもの以外に圏域マネジメント能力の強化に係る連携を実施する。
-------	-------------------------------------

事業名	男女共同参画推進事業	連携市町	新発田市・胎内市・聖籠町
		連携開始	平成29年

事業費の推移(千円)		R4	R5	R6	R7	R8
	新発田市	120	0	217	217	217
	胎内市	72	408	285	285	285
	聖籠町	4	0	0	0	0
実施スケジュール		→	→	→	→	→

事業概要

男女共同参画社会の実現に向けて、圏域内の自治体との連携により、住民への啓発を行うための講演会等の開催やリーフレット作成に取り組む。

期待される効果

男女共同参画社会や人権等の啓発事業などを連携により展開することによって、効率的な推進が図られ、男女共同参画社会の形成や活力ある地域社会の実現が期待できる。

費用負担割合

リーフレット作成等に係る費用は新発田市が負担し、講演会などの開催に係る費用は新発田市、胎内市が負担する。それ以外は、それぞれが負担する。

各市町の役割分担

新発田市	主体となり事業の調整を図り、連携市町と啓発事業の企画・運営、啓発リーフレットの作成等を行う。	胎内市	新発田市と事業調整など連携を図るとともに、啓発事業の企画・運営を行う。
		聖籠町	新発田市と事業調整など連携を図るとともに、啓発事業の企画・運営を行う。

成果指標(KPI)

各種審議会の女性委員の割合(%)	現状値(令和3年度時点)	目標値(令和8年度)
		28.2%